

月山ダム水源地域ビジョンは、「地域の持つ資源を再確認し、水源地域の環境を保全するとともに、新たな魅力を発掘・創出することで、水源地域の自立性・持続的な発展を図る」ことを基本理念として、平成17年10月に策定。その後、活動をより継続的なものとするため平成26年12月に実施体制を見直し、“できることから”再始動し、ダムと関わりの深い「水」に着目、その水を育む「森」をつくる「水源の森づくり」を展開し、そこから基本理念に沿った活動が派生していくよう、取り組みを進めており、**今年度は10月4日(あさひ小学校26名)と10月16日植樹箇所防草対策を行い、11月18日関係者により移植作業を行う予定です。**

「水源の森づくり2018」を 開催しました!!

★10月21日(日) 9:30～13:00 一般参加【大人52名 子供13名】

今年度は、「つるおか森の時間」とのコラボレーションにより
多くの方が参加してくれました!!



★2018年11月3日(土)

初めての移植作業



「水源の森づくり2019」



10月4日(金) タネ植え作業
あさひ小学校2年生 26名



10月16日(水)
伐採木のチップ化作業
植樹箇所の除草作業

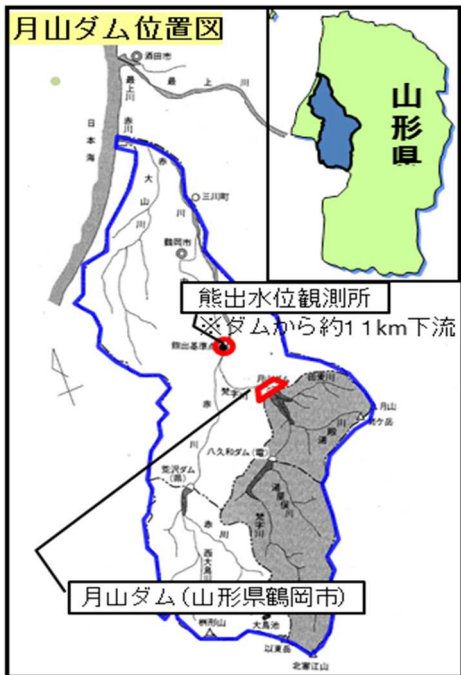
※「月山ダム水源地域ビジョン推進会」名簿

委員氏名	所属等
菊池 俊一	山形大学農学部准教授
小関 祐二	アルゴディア研究会 代表
伴 和香子	NPO法人森と水 理事長
阿部 等	公益のふるさと創り鶴岡 常務理事
東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター 所長	
鶴岡市地域振興課 課長	
鶴岡市朝日庁舎 支所長	
東北電力株式会社 酒田発電技術センター 所長	
月山ダム管理所長	

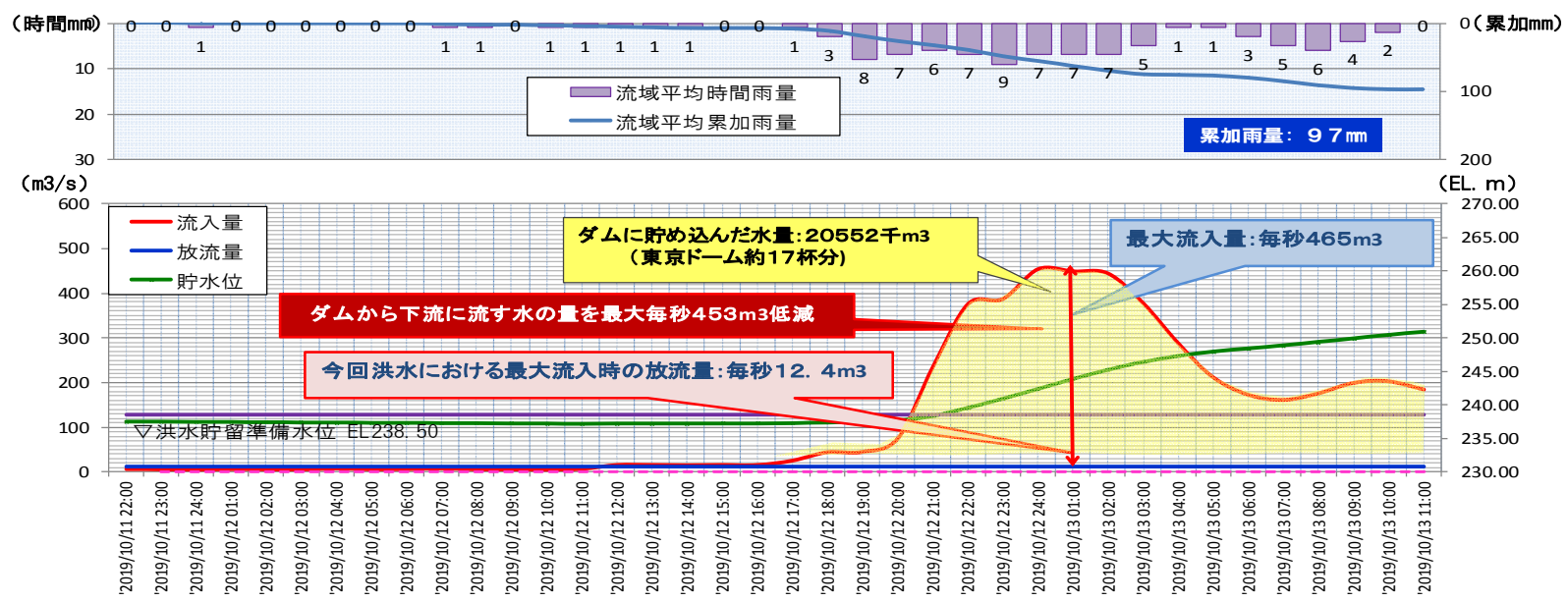
出水速報

赤川水系 月山ダムの効果（令和元年10月11日からの降雨に伴う洪水）

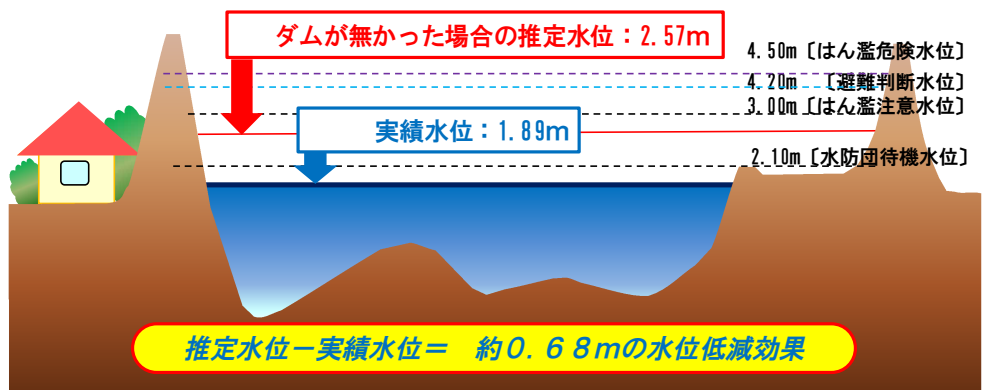
- 令和元年10月11日～14日、台風19号の影響による降雨により、月山ダム上流域において、**時間最大9mm**、**累加雨量97mm**の降雨を観測し、ダムへ流れ込む水の量は、**最大465m³/秒（13日0:50）**に達しました。
- 非洪水期（10月1日から5月31日）で融雪出水以外の要因により、洪水量200m³/秒を超えたのは**管理開始以降初めて**となります。
- 今回の洪水において、月山ダムでは、**約20,552千m³（東京ドーム約17杯分）**の水をダムに貯留し、下流河川へ流す水量を最大で**453m³/秒**軽減しました。
- これにより、ダム下流の**熊出地点**（鶴岡市熊出）では**0.68m**の水位を低減させることができたと推測されます。



月山ダムの洪水貯留状況



赤川の水位低減状況（ダム下流 熊出水位観測所）



月山ダムの貯水状況

